

♪久しぶりのおさらい会♪



吉村先生ご挨拶の様子。客席はソーシャルディスタンスを保てるよう、間隔を開けて30席のみのご用意となりました。人数の少なさや茶話会の中止…ゆっくりお話を楽しんでいただくこともままならないという、いつもと違った寂しさはありましたが、ご来場の皆様に見守っていただき、会場はあっという間にいつもと変わらぬ温かさに包まれました。スクールのアットホームさが改めて感じられた会となりました。

新型コロナウイルスの影響により、春のおさらい会、そしていろいろな行事が休止となっていました。久しぶりに10月25日、秋晴れのよいお天気の中、秋のおさらい会が開催されました。

コロナ禍でも、ぜひ、人の前で演奏することによって前に進んでほしいという先生方の気持ちで行われました。13名の生徒さんが演奏してくださいました。1部/2部の入れ替え制にし、ホールに集まる人数を制限するために来場のご家族の人数を伺って、2階の各教室で待機していただくなど、密にならないように気をつけました。おさらい会後の茶話会もなくし、少し寂しかったですが、あたたかい雰囲気のお会となりました。ヴァイオリンの曲では、ほとんどがピアノの先生に伴奏していただいていたので曲として完成するので、今回もピアノと一緒に弾いて普段のレッスンでは気づけなかったことがつづきことができたり、生徒とともにいろいろと勉強になりました。

小さな生徒さんから大人の方まで、おさらい会を目標として頑張ってきた気持ちが、歌となってみんなにとってもよく伝わってきました。 妹尾先生 (Vn)



おさらい会のトリを飾ってくれた水野さん。軽やかなタッチで華やかに演奏してくれました。

今回は例年とは違い少人数で行う形になりましたが、ちゃんとおさらい会のために練習し、発表できたと思います。発表の時は緊張して指が回るか心配でしたが、止まらずに弾けました。多少ミスタッチや速さが変わってしまうところがあったのですが、なんとかカバーできてよかったなと思います。STEINWAYで弾けることはなかなかないので鍵盤の感触や音の響き方を味わいながら弾きました。他の方々も緊張していたと思いますが、みんな止まることなく弾けていました。自分は最後の発表だったので他の方の上手さに圧倒されながら自分の番を待っていました(笑)このご時世、来年もやれるかは分かりませんが、来年のおさらい会も頑張ってお出られたらいいなと思っています。 水野由那 (中1・Pf)

一年ぶりのおさらい会でした。密を避けるため二つのグループに分かれての開催となりました。私はおさらい会第一部を鑑賞させていただきました。プログラム一番、立石萌々花ちゃんの「アラバスク」。綺麗なピアノの音で堂々とした演奏でした。二番、斎藤千嘉ちゃん。日々の努力の積み重ねがヴァイオリンの音色から伝わってきました。三番、安坂亜紗ちゃん。その力強いヴァイオリンの演奏に圧倒されました。取りをかざられたのは郡幸子さん・古沢裕治先生によるクラリネット二重奏。やさしいぬくもりのあるクラリネットの音色を聴いているとあたたかい日溜りの中にいるような気持ちになりました。

耕太郎と実穂は休校中、楽器に親しむ時間がたくさんあったのでさまざまな曲を弾いて楽しんでいました。ソルフェージュスクールに通い始めてもうすぐ十年になります。楽譜を読む力、音楽を愛する心を育てていただきました。感謝!!子どもたちの心の中の音楽の泉はこれからもずっと人生に豊かな潤いを与え続けてくれると信じています。 堀山裕子 (生徒保護者)



堀山家の兄妹はふたりともピアノ、ヴァイオリンの両方を習っています。今回お兄さんはヴァイオリン、妹さんはピアノで出演しました。

ふたりの演奏からは、音楽を奏でる楽しさを感じていることが伝わってきました。優しく美しい音色がホールに溢れました。



【おさらい会における感染対策】

- ・2部制にし、途中換気を行う
- ・会場席数を減らし、間隔を確保(30席)
- ・一ヶ所に人数が集中しないよう、教室を控室として利用
- ・空気清浄機の導入
- ・ピアノを都度消毒
- ・茶話会の中止

今後も皆さんに安心して音楽を楽しんでいただけるよう、対策に努めてまいります。



♪♪♪プログラム♪♪♪

- ＜一部＞
1. Pf フルグミュラー : アラバスク
 2. Vn ベッカー : ガヴォット (Pf 伴奏: 津市楽先生)
 3. Vn パッサ : ブーレ (Pf 伴奏: 津市楽先生)
 4. Pf メンデルスゾーン : 狩りのうた
 5. Vn モーツァルト : コンチェルト No.3 1楽章 (Pf 伴奏: 加藤先生)
 6. Cl モーツァルト : 二重奏曲 (2nd Cl古沢先生)

- ＜二部＞
1. Pf 生徒作曲 : おはなをさかせよう
 2. Pf 外国の曲 : チューリップのライダグダンス
 3. Pf パスティン : こどものマーチ
 4. Pf オルガンピアノより : ペルシャのおひめさま
 5. Pf キャサリン・ロリン : インディアンのだいて
 6. Pf キャサリン・ロリン : よちよちペンギン
 7. Pf グルリット : ふしぎなユニコーン
 8. Pf エルメンライヒ : おまつり
 9. Pf モーツァルト : 紡ぎ歌
 10. Pf モーツァルト : トルコ行進曲



パ ウ ゼ

先生たち、おやすみ中はなにをしていましたか？

コロナ禍でソルフェージュスクールが休校だった間、皆さんはどんなことをしていましたか？スクールの先生たちも、予期せぬ長いお休みをさまざま工夫して過ごしていたようです。

棟尾先生 (Vn)

家の片付けと散歩の毎日でした。楽器を弾く時は、自分のために楽しもうと思って弾きながら、早くスクールが始まりみんなに会えないかなと思っていました。

加藤先生 (Sol&Pf)

公共交通機関を避けるために、車で家族の送迎に明け暮れていました。食事を作る回数が増え、ただひたすら作るのが嫌になり(笑)、朝昼晩のご飯の記録をつけました。zoomの練習も兼ねて何度かzoom飲み会も経験。つながれる安心感はありませんがやはり会いたいなあ、と思いました。

水野先生 (Pf)

4月から最近まで長野県の蓼科に逃亡しておりました。また、しばらくペットを飼うことを我慢していたのですが、久しぶりに仔猫を我が家へ迎え入れ、「どらみちゃん」と名付けて可愛がっています。とてつもなくやんちゃな娘で、セーターを着ようと思うと蟬のように袖に貼り付いている、勝手に栓を開けられて水が流れっぱなし…という風に毎日振り回されています。4代目の猫なのでこちらには経験があると思っていたのですが、甘かった！どう考えても敵の方が一枚ウワテでした。コロナがこれからどんな展開をするのか分かりませんが、とにかく1日も早く皆様と再会し、楽しいソルフェージュ生活を取り戻したいと願っています。



吉村先生 (Sol)

車が運転できることの便利さを改めて感じた日々でした。公共交通機関を使わず、外出する時は車で移動していました。

糸井先生 (Vn)

ステイホームの間、パジャマ2枚、ホームパンツ2枚、ブラウス1枚縫いました。細身の娘にあげたパンツは大きすぎて、ゾウさんがはくみたい、と笑われました。また外でケーキが食べられないので、自分でマドレーヌを焼きました。初めの頃はバターを入れ忘れり、メレンゲが泡立たなかったりと失敗しましたが、今は上手になりました。ゆとりの時間を楽しみました。

～水野家のやんちゃな日々～



【お知らせ・今後の予定】

レ・テータル (子どものコーラス科)

ソルフェージュ&ABC (音楽と英語双方の上達を目指すクラス)

11月29日(日)より対面レッスン再開します！

※ウフ(小さなお子さんのプレ・ソルフェージュクラス)はお休み中です

クリスマスコンサート

12月20日(日) 午後2時 3階ホール

今後の状況により変更や中止などが生じた場合は、随時ホームページやFacebookなどでお知らせします。



Facebook



Web



(編集後記)

新型コロナウイルスの影響で、ソルフェージュスクールでは3月以降さまざまなイベントを中止してきました。それ以来はじめての行事となった今回のおさらい会は、人数調整の工夫(結果的に来場ご希望の皆様にお越しいただくことができました)など、これまでとは異なる状況での開催となりましたが、出演者や保護者の皆様に多大なるご協力とご理解をいただき、無事終えることができました。こうしてまたひとつの会場で音楽を共有することができたこと、お集まりいただいた皆様と、生徒達の音楽的成長を見守ることができたことは、スクールにとっても大きな一歩でした。

今後も状況は日々変化していくと思いますが、ソルフェージュスクールに限らず音楽や芸術文化に関わる人、勉学や仕事に励む人、全ての人たちが前を向いて活動できるよう、頑張っていきたいですね。

〈生徒の皆様へのお願い〉

- ・マスクをご着用ください
- ・スクールに到着時、入り口に設置してある消毒液で手の消毒をお願いします
- ・体調がすぐれない場合は無理をせずお休みください

〈スクールの取り組み〉

- ・講師・スタッフはマスク着用
- ・手洗い、手消毒の徹底
- ・スクール内設備、室内、共有物の都度消毒
- ・レッスンごとの換気、ピアノの拭き掃除
- ・レッスン中も生徒と一定の距離をとる
- ・歌うことは最小限に抑える
- ・空気清浄機、加湿器の導入